

# Tajima Shinkin Bank



《たしん》の現況

2013.9

中間期レポート

**たんしん**は、皆様に経営内容や活動についてより一層ご理解頂き、安心してお取引頂けますよう、平成25年度上半期(平成25年4月1日～平成25年9月30日)における主な経営状況についてご報告申し上げます。

## 損益の状況

平成25年9月期決算は、資金の効率的な運用と経営全般の合理化に努めました結果、有価証券利息配当金の増収や昨年負担した共同事務センター移行に伴う物件費が削減されたことなどにより、コア業務純益は286百万円と昨年より増益となりました。当期純利益につきましても931百万円と増益となりました。引続き安定的な収益確保により経営基盤の強化に努めてまいります。

(単位:百万円)

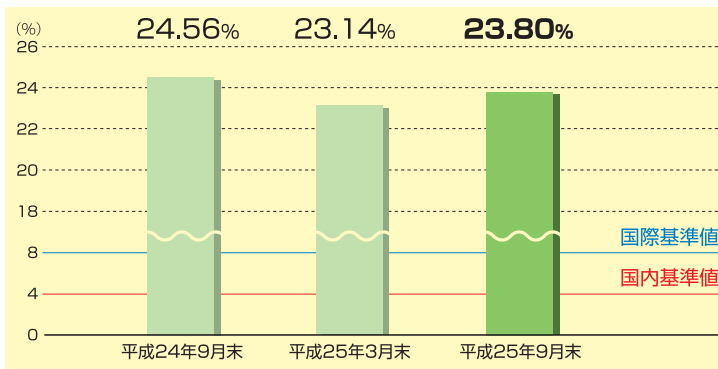
	平成24年9月末	平成25年9月末
業務純益	605	733
コア業務純益	91	286
経常利益	299	866
当期純利益	205	931

\*コア業務純益は金融機関本来の業務から生ずる収益力を表すもので、業務純益から一時的な変動要因である債券関係損益や一般貸倒引当金繰入額を除いたものです。

## 自己資本の状況等について

### 自己資本比率の状況

自己資本比率は金融機関の経営の健全性を示す主要な指標の一つとされ、当金庫は、お客様に安心してお取引頂くため、自己資本の充実、自己資本比率の向上に努めております。平成25年9月末の自己資本比率は23.80%で、引き続き高水準を維持することができました。この数値は、早期是正措置で義務付けられている国内基準(4%)を大幅に上回っております。また、金融業界でも高位に位置し、当金庫の健全性、安全性を示しております。



\*平成26年3月30日までは、「自己資本比率規制の一部を弾力化する特例」が適用されますが、平成24年9月末、平成25年3月末及び平成25年9月末については、特例措置を適用していません。

### 自己資本の構成に関する事項

#### 自己資本調達手段の概要

- 自己資本を構成する主なものは、基本的項目(Tier1)と補完的項目(Tier2)です。
- 基本的項目は会員の皆様からお預かりしている出資金や、当金庫が積み立てている特別積立金があります。  
なお、平成26年3月30日までの特例措置として、その他有価証券で評価損がある場合はこれを控除しないこととする自己資本比率規制の一部を弾力化する特例(平成24年金融庁告示第56条)がありますが、平成25年3月末及び平成25年9月末については、「その他有価証券の評価差損」はなく、特例措置は適用していません。
- 補完的項目を構成する主なものは、一般貸倒引当金と偶発損失引当金です。

(単位:百万円)

項 目	平成25年3月末	平成25年9月末
( 自 己 資 本 )		
出資金	838	837
利益準備金	865	865
特別積立金	31,300	31,300
次期繰越金	129	1,060
その他有価証券の評価差損	—	—
基本的項目(A)	33,133	34,064
一般貸倒引当金	1,754	1,756
補完的項目不算入額	△ 834	△ 838
補完的項目(B)	919	918
自己資本総額[(A)+(B)](C)	34,053	34,982
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	4,000	4,000
負債性資本調達手段及びこれに準ずるもの	—	—
期限付劣後債務及び期限付優先出資並びにこれらに準ずるもの	4,000	4,000
控除項目不算入額	△ 4,000	△ 4,000
控除項目計(D)	—	—
自己資本額[(C)-(D)](E)	34,053	34,982
(リスク・アセット等)		
資産(オン・バランス項目)	133,854	133,852
オフ・バランス取引項目	2,942	2,749
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	10,364	10,364
リスク・アセット等計(F)	147,160	146,966
単体Tier1比率(A/F)	22.51%	23.17%
単体自己資本比率(E/F)	23.14%	23.80%

(注)1. 信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会その保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)に基づき算出しております。  
なお、当金庫は国内基準を採用しております。

## 自己資本の充実度に関する事項

### 自己資本の充実度に関する評価方法の概要

- 自己資本の充実度に関し、自己資本比率は国内基準の4%を大幅に上回っております。  
また、金融業界でも高位に位置し、当金庫の健全性、安全性を示すものとなっております。
- 特定のポートフォリオヘリク・アセットが極度に集中していることなく、リスクの分散を図っております。
- 自己資本充実策については、年度毎に掲げる諸計画に基づいた業務活動から得られる利益を着実に積上げることに重点を置いております。
- 自己資本の充実度に関する評価については、当金庫が整備している統合的なリスク管理態勢の下で実施しております。  
具体的には、「信用リスク」・「市場リスク」・「オペレーショナルリスク」の3つのリスクに対して各々資本配賦を行い、計量化したリスク量が配賦した資本の枠内にコントロールできるよう運営を行っております。  
また、ストレステストで計測した各種のリスクが同時に顕在化した場合を想定し、その場合の自己資本の毀損度を把握しております。現状、ストレス時の自己資本比率も国内基準4%を上回っており、経営の健全性・安全性を保っていける水準であると自己評価しております。

(単位:百万円)

項目	平成25年3月末		平成25年9月末	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット・所要自己資本の額合計	136,795	5,471	136,602	5,464
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	136,795	5,471	136,602	5,464
現金	-	-	-	-
我が国の中央政府及び中央銀行向け	-	-	-	-
外国の中央政府及び中央銀行向け	4	0	5	0
国際決済銀行等向け	-	-	-	-
我が国の地方公共団体向け	-	-	-	-
外国の中央政府以外の公共部門向け	13	0	1,310	52
国際開発銀行向け	-	-	-	-
地方公共団体金融機構向け	941	37	941	37
我が国の政府関係機関向け	2,891	115	2,749	109
地方三公社向け	-	-	-	-
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	28,313	1,132	30,866	1,234
法人等向け	44,280	1,771	41,159	1,646
中小企業等向け及び個人向け	26,339	1,053	26,925	1,077
抵当権付住宅ローン	7,611	304	6,443	257
不動産取得等事業向け	11,699	467	11,897	475
三月以上延滞等	780	31	723	28
取立未済手形	9	0	6	0
信用保証協会等による保証付	541	21	520	20
株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	-	-	-	-
出資等	2,023	80	1,661	66
上記以外	11,343	453	11,391	455
②証券化エクスポージャー	-	-	-	-
証券化(オリジネーター)	-	-	-	-
証券化(オリジネーター以外)	-	-	-	-
③複数の資産を裏付とする資産(所謂ファンド)のうち、個々の資産の把握が困難な資産	-	-	-	-
ロ. オペレーショナル・リスク	10,364	414	10,364	414
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)	147,160	5,886	146,966	5,878

- (注) 1. 所要自己資本の額=リスクアセット×4%
2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフバランス取引及び派生商品取引の与信相当額です。
3. 「三月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「我が国の中央政府及び中央銀行向け」～「法人等向け」においてリスクウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。
4. オペレーショナル・リスクは、当金庫は基礎的手法を採用しています。  
(オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法)  

$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$
5. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

## 金融再生法に基づく資産査定開示債権と保全状況

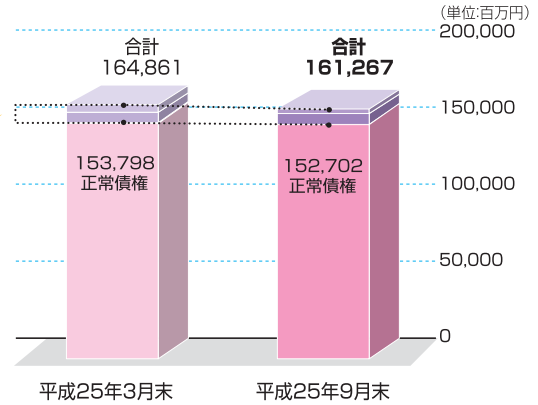
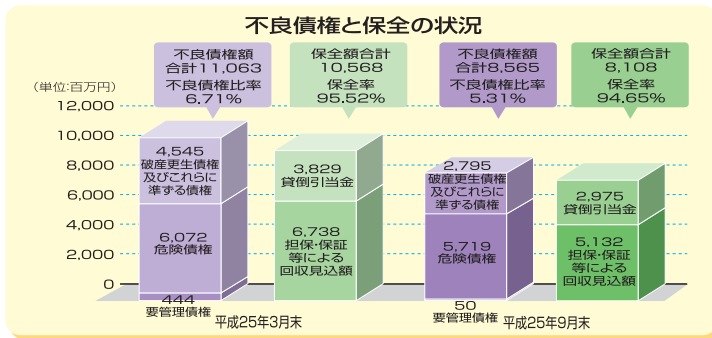
金融再生法では、全ての債権(貸出金のほかに債務保証見返、未収収益、仮払金、外国為替)について、回収が懸念される程度を「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」「正常債権」の4つに区分しております。

平成25年9月末における回収に懸念があるとされる不良債権残高は、平成25年3月末に比べ2,497百万円減少し、8,565百万円となり、金融再生法上の不良債権比率は、1.39ポイント下降(改善)し5.31%となりました。

なお、不良債権については担保・保証や貸倒引当金で94.65%を保全していることに加え、正常債権に対しても別途貸倒引当金を計上しており、不良債権に対して万全の対応をとっております。

区分		開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による 回収見込額(c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b)/(a)	引当率 (d)/(a-c)
金融再生法上の不良債権	平成25年3月末	11,063	10,568	6,738	3,829	95.52	88.55
	平成25年9月末	8,565	8,108	5,132	2,975	94.65	86.67
	増減	△ 2,497	△ 2,460	△ 1,606	△ 854	△ 0.87	△ 1.88
破産更生債権及び これらに準ずる債権	平成25年3月末	4,545	4,545	2,536	2,009	100.00	100.00
	平成25年9月末	2,795	2,795	1,593	1,201	100.00	100.00
	増減	△ 1,750	△ 1,750	△ 942	△ 808	0.00	0.00
危険債権	平成25年3月末	6,072	5,577	3,813	1,764	91.84	78.09
	平成25年9月末	5,719	5,262	3,493	1,768	92.00	79.45
	増減	△ 352	△ 315	△ 319	4	0.16	1.36
要管理債権	平成25年3月末	444	444	389	55	100.00	100.00
	平成25年9月末	50	50	44	5	100.00	100.00
	増減	△ 394	△ 394	△ 344	△ 49	0.00	0.00
正常債権	平成25年3月末	153,798					
	平成25年9月末	152,702					
	増減	△ 1,096					
合計	平成25年3月末	164,861					
	平成25年9月末	161,267					
	増減	△ 3,594					

### 金融再生法による債務者区分毎の開示額



## 有価証券の時価情報

有価証券の運用は安全性を考慮し、国内債券中心で行っています。

### 満期保有目的の債券

	種類	平成25年3月末			平成25年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	3,013	3,300	286	3,012	3,260	247
	地方債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	-	-	-	-	-	-
	その他	7,799	8,018	218	5,999	6,170	171
小計	10,813	11,318	505	9,012	9,430	418	
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	-	-	-	-	-	-
	その他	8,900	8,405	△ 494	7,100	6,830	△ 269
小計	8,900	8,405	△ 494	7,100	6,830	△ 269	
合計	19,713	19,724	11	16,112	16,261	148	

### その他有価証券

	種類	平成25年3月末			平成25年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	445	370	74	265	258	7
	債券	168,019	162,475	5,544	149,914	146,035	3,879
	国債	40,408	39,123	1,284	24,869	24,241	627
	地方債	30,552	29,193	1,358	31,449	30,377	1,071
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	97,058	94,157	2,900	93,596	91,416	2,179
	その他	2,769	2,706	62	2,516	2,478	38
小計	171,233	165,551	5,681	152,697	148,772	3,924	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	95	107	△ 12	11	14	△ 2
	債券	1,829	2,000	△ 170	7,267	7,435	△ 167
	国債	-	-	-	3,099	3,108	△ 8
	地方債	-	-	-	696	698	△ 2
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	1,829	2,000	△ 170	3,471	3,628	△ 156
その他	528	561	△ 33	451	487	△ 35	
小計	2,453	2,669	△ 216	7,731	7,937	△ 206	
合計	173,686	168,221	5,465	160,428	156,709	3,718	

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。  
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。  
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。  
 4. 当金庫には、子会社・子法人等株式及び関連法人等株式はございません。

### 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

	平成25年3月末	平成25年9月末
貸借対照表計上額		
非上場株式	24	24
組合出資金	4	4
合計	29	29

## 預金・貸出金の状況

### 預金の状況

平成25年9月末の預金残高は、平成25年3月末に比べ流動性預金が16億82百万円、定期性預金が45億24百万円増加し、預金全体では61億79百万円増加しました。

今後ともお客様の資産づくりのお手伝いと、当金庫の安定した基盤づくりに努めてまいります。

### 貸出金の状況

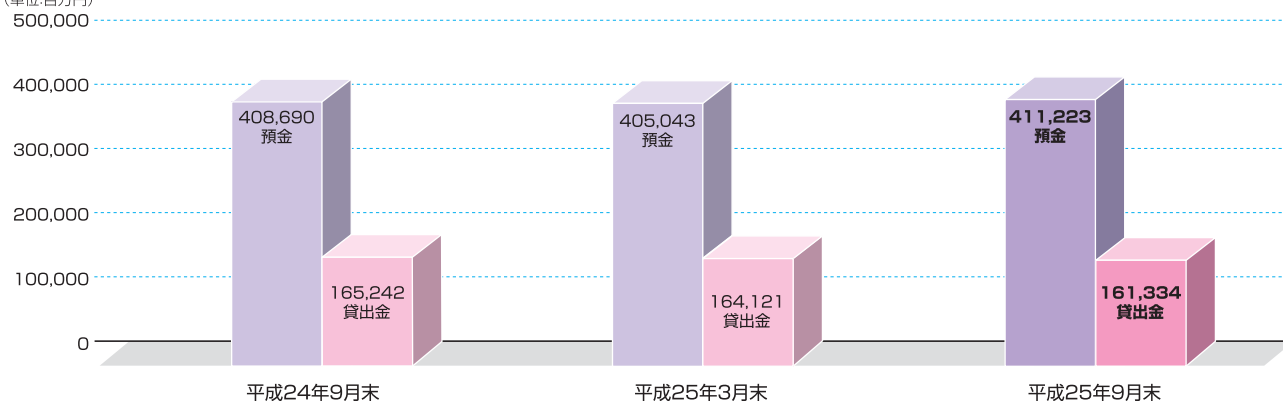
地域経済は依然として厳しい状況にあり、平成25年9月末の貸出金残高は、平成25年3月末に比べ事業性融資で24億46百万円、個人向け融資で2億93百万円減少しました。また、地方公共団体向け融資についても48百万円減少し、貸出金全体では27億86百万円減少しました。

今後も継続して裾野金融に徹し、地元で資金を必要とするお客様に融資を行うことにより、事業の健全な維持、繁栄および豊かなライフスタイル実現へのお手伝いに努めてまいります。

(単位:百万円%)

	平成24年9月末 残高	24年3月末 対比増減率	平成25年3月末 残高	24年9月末 対比増減率	平成25年9月末 残高	25年3月末 対比増減率
預金	408,690	0.14	405,043	△ 0.89	411,223	1.52
貸出金	165,242	0.40	164,121	△ 0.67	161,334	△ 1.69

(単位:百万円)



### 貸出金の業種別内訳

地域のお客様からお預かりした大切な預金は、地域経済の発展、繁栄のお手伝いをするため、特定のお取引先や業種、地域に偏ることなく、幅広くご利用いただくよう心掛けております。

(単位:百万円)

業種	平成24年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末
製造業	11,823	11,390	10,407
農業、林業	301	283	267
漁業	0	0	0
鉱業、採石業、砂利採取業	16	5	6
建設業	19,131	19,037	17,588
電気・ガス・熱供給・水道業	15	-	-
情報通信業	425	323	471
運輸業、郵便業	1,002	908	849
卸売業、小売業	13,310	13,059	13,102
金融業、保険業	6,919	6,967	7,496
不動産業	14,765	15,569	15,117
物品賃貸業	273	207	212
学術研究、専門・技術サービス業	880	747	758
宿泊業	6,766	6,634	6,774
飲食業	4,804	2,719	1,725
生活関連サービス業、娯楽業	4,333	4,322	4,443
教育、学習支援業	369	560	510
医療・福祉	4,038	4,014	4,567
その他のサービス	2,468	2,189	2,197
小計	91,646	88,942	86,496
地方公共団体	28,411	29,833	29,785
個人(住宅・消費・納税資金等)	45,184	45,345	45,052
合計	165,242	164,121	161,334

(注)業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

当金庫は地域経済の活性化や地域社会の発展に寄与できるよう、さまざまな活動に取り組んでいます。

## 地域・社会貢献活動

### 公益財団法人たんしん地域振興基金の活動

#### ■「助成先決定」通知書交付式(4月18日)



但馬地域の活性化にお役に立てるよう、地域社会活動や産業活性化活動を行う諸団体に対し、毎年、助成金を交付しています。今年度は、6団体に106万円を助成する予定です。昨年度までの累計助成金額は、140先、3,269万円になりました。

#### ■「たんしん経営塾」第13期開講式を開催(9月19日)



但馬地域の産業を担う若手経営者の育成をお手伝いするために「たんしん経営塾」を開講し、定期的な勉強会と異業種交流を図っています。また、講座修了者の継続的な交流と相互啓発の場としてOB会を組織し、現在189名が会員となっています。

## 経営者セミナー、経済講演会、各種経営相談の実施

#### ■経営者セミナーの開催(8月5日)

「中小企業の生き残り戦略 ～他社の経営者はどうしているか～」

講師：中村 智彦 氏 (神戸国際大学経済学部教授)  
中小企業論・地域経済論の専門家であり分かりやすい講義で定評がある中村氏を講師に、様々な企業の成功事例を学び、生き残り戦略について「気づき」を発見するセミナーを実施しました。



#### ■経済講演会の開催(11月8日)

「アベノミックスと日本経済 ～この国の行方を展望する～」

講師：金子 勝 氏 (慶應義塾大学経済学部教授)  
当金庫福知山支店のオープン記念事業を兼ねて、TV番組でも馴染みで切れ味鋭いトークに定評がある金子氏を招聘し、講演会を実施しました。



#### ■経営相談の実施(随時受付)

経営者の方々の様々なお悩みに、中小企業診断士等がサポートさせていただきます。経営相談のほか、財務診断、従業員意識調査、事業承継診断、経営シミュレーションや従業員向けセミナーなどの経営改善支援を随時行っていますので、お気軽にご相談ください。

## CSR(企業の社会的責任)活動の推進

#### ■「認知症サポーター」を養成

平成24年度に職員のほぼ全員を「認知症サポーター」として養成しました。認知症の方や家族の方で、援助が必要な場合は気軽にお申し出ください。

#### ■「地球温暖化防止」への取り組み

地球温暖化防止のため、クールビズやウォームビズ等を実施するとともに、冷暖房時の設定室温を統一して、節電に積極的に取り組んでいます。

#### ■AED(自動体外式除細動器)の店外設置

来店者や通行者の心臓発作等、心停止状態の緊急事態に備え、AEDを平成19年11月から全店に設置しています。このうち19店舗は、休日や営業時間外でも必要な人が使用できるように、ATMコーナーに設置しています。なお、本店は店舗入口横の屋外とロビー内の2箇所に設置しています。



#### ■「コウノトリ基金」の寄付活動に協力

地域の環境保全や但馬地域振興のシンボルであるコウノトリの野生復帰事業に賛同し、職員用飲料水自動販売機の売上高の一部を寄付する活動を行っています。今年度は「コウノトリファンクラブ」へ寄付しました。

#### ■「献血」や「清掃作業」の奉仕活動

毎年、地域の事業である「献血」活動に協力し、全店一斉に地域の清掃作業を実施しています。また、地域のまつりへの協賛や参加をしています。



## 「振り込め詐欺」被害への対応について

万一、「振り込め詐欺」の被害に遭われた場合は、「振り込め詐欺救済法」に基づき対応させていただきます。被害に遭われたお客様は、直ちに警察等の捜査機関に連絡いただくとともに、振り込み先の金融機関へご連絡ください。

※詳細については、「預金保険機構」のホームページをご覧ください。  
(<http://www.furikomesagi.dic.go.jp/>)

## 金融円滑化および苦情対応・紛争解決措置等に向けた取り組み

当金庫は、資金繰りが厳しい中小企業や住宅ローンの返済が困難になった個人のお客様の借入金の返済猶予、お客様の抱えている問題を十分にお聞きして、貸付条件の緩和策に取り組んでいます。そのために当金庫では、金融円滑化に関する相談窓口を本部および全店舗に設置して迅速な対応に努めています。

また、お客様からの苦情・紛争等のお申し出に対して、公正かつ的確に対応するために苦情等の相談窓口を設けて、苦情原因の迅速な解決に努めています。当金庫のほか、下記の「全国しんきん相談所」などでも苦情等を受け付けています。

### お客様相談窓口のご案内

#### ■金融円滑化の苦情・相談窓口

フリーダイヤル 0120-114-450 (受付時間 / 平日 9:00~18:00)

#### ■通常のご意見・要望・苦情・相談窓口

フリーダイヤル 0120-839-939 又は 0796-23-1209  
(受付時間 / 平日 8:40~18:00)

#### ■「全国しんきん相談所」(全国信用金庫協会内)の相談窓口

03-3517-5825 (受付時間 / 平日 9:00~17:00)

#### ■「兵庫県弁護士会 紛争解決センター」の相談窓口

078-341-8227 (受付時間 / 平日 9:00~17:00)

## 商品・サービスのご案内

### ■「ウィンターキャンペーン」の取扱い(平成26年1月31日まで)

個人のお客様向けに1年と3年の定期預金を特別金利でお預かりします。(ただし、ご継続後の金利は、継続時の店頭表示金利が適用されます。)

#### ◆定期預金金利(税引前)

1年 窓口扱い:年0.20%、ATM扱い:年0.21%

3年 窓口扱い:年0.23%、ATM扱い:年0.25%

(預入金額:おひとり10万円以上1,000万円以内)



### ■お子様の就学、車に関する費用、あらゆる消費資金等

「進学ローン」、  
「マイカーローン」、  
「カードローンきゃっする」等、  
資金需要に応じた商品を取り揃えています。



### ■住宅関連資金、エコ等の設備、介護機器購入等

「住宅ローン」、「リフォームローン」、「リフォームローン 快適ライフII」等、お客様のライフサイクルや様々なニーズにお応えできるよう、各種取り揃えています。

### ■「福知山支店」(9月24日オープン)

京都府に2店舗目となる福知山支店を新設しました。

住所:京都府福知山市駅南町3-49

ATM利用時間:平日 8:00~21:00

土・日・祝日 8:45~20:00

また、フレスポ福知山に店外ATMコーナーを設置しています。

新店舗オープンのお知らせ

